

口腔用液「ブコラム」の研修を行いました。

令和5年 6月23日（金） 全体研修


本校相談医師である、きむ医療連携クリニック 院長 金永進先生を講師に迎え、てんかん重積状態の治療剤 口腔用液「ブコラム」についての研修が行われました。

まず最初に、てんかん発生時の対策についてのお話やブコラムが日本で販売承認されるようになった経緯についてのお話をして頂きました。



医療現場ではない学校でのてんかん発作対策は、坐薬でした。しかし、どこでいつ起きるかわからないてんかん発作の対策としては、プライバシーの問題もあり、すぐに使いにくいという難点がありました。そこで、口から投与できるブコラムが2020年9月25日に承認され、発売されました。これによって、てんかんの重積状態が回避し、脳へのダメージを軽減できることが期待されています。

ブコラム®を使用されるお子さんと
介護者の方向けのサイト
ブコラム.jp



「てんかん重積状態」についての解説や
ブコラムがどのようなお薬かをくわしく紹介しています。
ブコラムの投与方法は動画でもご覧いただけます。
ぜひご確認ください!

次に、ブコラム.jpの動画を見ながら、投与方法や投与後の注意点を学びました。

ブコラム投与後の注意点としては、「ブコラムは痙攣を抑制するが、呼吸も抑止してしまう副作用があるため、投与後は呼吸の状況に注意すること。」「脳の活性化も止めるため、睡眠状態になり、筋肉も弛緩する。歩くことや起き上がることができなくなること。」が挙げられます。



最後に、学校でのブコラムの使用について、お話を頂きました。

2022年7月の厚生労働省からの通達で、学校で児童生徒が、けいれん発作を起こした場合に、ブコラムの投与を行うことが可能になりました。ただし、現在のところ学校での使用実績が少ないため、使用の際は慎重に扱う必要があります。全国では、使用例が増えていっています。

講義後の質疑応答では、保存や使用の注意点について質問が寄せられていました。